

**製品名: hnRNP F ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12143**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HNRNPF
別名	HNRNPF; HNRPF; Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein F; hnRNP F; Nucleolin-like protein mcs94-1
遺伝子 ID	3185.0
SwissProt ID	P52597
免疫原	抗血清はヒト hnRNP F 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

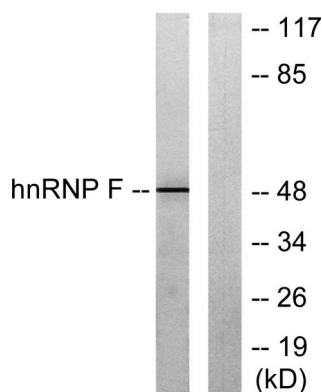
**背景**

この遺伝子は、普遍的に発現する異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) のサブファミリーに属します。hnRNP は、異種核

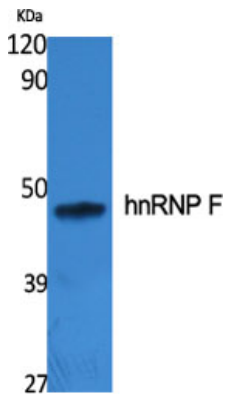
RNA (hnRNA) と複合体を形成する RNA 結合タンパク質です。これらのタンパク質は核内の pre-mRNA に結合し、選択的スプライシング、ポリアデニル化、その他の mRNA 代謝および輸送を制御します。すべての hnRNP は核内に存在しますが、一部は核と細胞質の間を往復しているようです。hnRNP タンパク質はそれぞれ異なる核酸結合特性を持っています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、グアノシンに富む配列を持つ RNA に結合する準 RRM ドメインの3つの繰り返し構造を有しています。このタンパク質は、ファミリーメンバーである hnRPH と非常に類似しています。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング変異体が同定されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 細胞質内で機能的で翻訳可能な mRNA になる前に pre-mRNA が受ける処理イベントの基質を提供する、異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) 複合体の構成要素。おそらく pre-mRNA 中の G に富む配列に結合する。、PTM:DNA 損傷時に ATM または ATR によってリン酸化される。、類似性:3つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。、サブユニット:スプライソソーム C 複合体で同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRNPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGOH、MORG1 から構成される。PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、ZCCHC8。TBP および TXNL4/DIM1 と相互作用する。、組織特異性:普遍的に発現する。、

## 研究分野

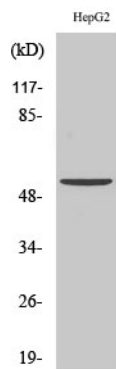
## 画像データ



hnRNP F 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



hnRNP F ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



hnRNP F ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析